

**JASDAQ**

2016 年 6 月 21 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO
阿部 修平
(東証 JASDAQ スタンダード:8739)

新作オリジナル動画を公開**株主総会へ行こうよ ―高まる「株主にならないリスク」―**

投資家の立場と事業会社の立場、両方がわかるスパークスならではのご提案

本日、スパークス・グループ(以下スパークス)は、公式 You Tube チャンネルにオリジナル動画「株主総会へ行こうよ」を公開いたしましたので、お知らせいたします。株主総会シーズンに合わせて発表する、この動画は、アベノミクス開始から3年半が経過しようとしている今、個人が、どうしたら所得の増加を実現できるのか、スパークスが考えるヒントをお知らせするために、制作いたしました。

上場企業の内部留保にあたる利益剰余金や現・預金が過去最高水準にあるものの、賃金や給与は横ばいのままです。一方、配当や自社株買いによる株主への還元額は過去最高水準です。私たちは、この点に着目し、賃金、給与だけに頼るのではなく、株主になるという観点もあわせて将来設計を考えてみてはどうかと思いました。今まさに、「株主にならないリスク」を抱えた社会をどう生きるかについて、一つのアイデアを提示したかったのです。

今起きている変化をどうとらえ、自分事としていけばいいのか。スパークスは、上場企業の利益剰余金の処分や取締役の選任等の企業戦略が、原則として、株主総会の議決によって決まることから、個人は株主になり議決権を行使し、投資している会社の企業戦略に主体的に関わるべきだと考えました。そこで、今こそ、株主総会に参加し、日本経済の未来を傍観するのではなく、共に将来価値を創造する実践家になろうと、呼びかけていきたいと思いました。

2001 年上場のスパークスは、資産運用サービスを中核事業とする企業グループとしては日本初の上場会社です。投資家の立場から上場企業に議決権を行使することを業としながら、一方で、上場企業として投資家からの承認なくしては会社運営を進めることができないという、投資家、事業会社、双方の立場を知るユニークな立ち位置にいます。動画では、8 日に行われたスパークスの株主総会や説明会の模様も織り交ぜながら、株主総会シーズンにスパークスならではのご提案」をさせていただく次第です。7 分間の動画です。是非、ご覧ください。

株主総会へ行こうよ:

<https://www.youtube.com/watch?v=CNuKa-FMVG0>

■本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 経営管理部

TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101

<http://www.sparx.jp/>